

箱根組ニュース

第350号 2022年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

奥武蔵の主、武甲山頂に10名が立つ。植林地と対照的な美しい新緑が見事だった！

5月15日(日)、西武池袋線池袋駅、6時50分発の特急ラビューちちぶ3号に乗車。所沢、入間市、飯能と停車し、飯能駅でスイッチバックして横瀬駅に8時9分着。1時間19分の特急の旅は初めて利用したがとても快適だった。

降り立ったのは、佐藤、井上夫妻、有倉、奥村、神山、川名夫人、布施、神吉、戸丸の10名

横瀬駅前には予約していた秩父ハイヤーのタクシー3台が待っていてくれた。コンクリート工場の横を抜けてゆく。昔歩いたことがあるが、歩道もなく歩きにくい。何人かが歩いていて。

8時30分、生川の一の鳥居着。駐車エリアにはたくさんさんの車が止まっていた。昔はなかったきれいな立派なトイレが左側に立っている。大勢の人が準備をしている。体操をしているうちにほとんどの人が出発して辺りはほぼ我々だけになった。

8時55分、出発。新緑がいっぱいの林の中に入ってゆく。小さな橋で沢を渡

りしばらくは左側の沢を見ながら進む。

9時1分、3丁目の石柱通過。目標の石柱は山頂のすぐ下の51丁目だ。

9時14分、8丁目。舗装の林道を横切る。左の沢には小さな滝があったりしてなかなか美しい。

9時20分、10丁目。

9時29分、左に鉄板の橋。これを渡って行けばシラジクボから子持山大持山方面につながる。

9時33分、14丁目。手前で舗装の林道が終わってここからは山道になる。

9時41分、鉄パイプと、板で出来た仮設の橋が現れる。ご婦人が前方から黒と白の二頭の犬を連れて下山中。黒犬が橋を怖がっていてなかなか通過できないようだ。しばらく待って、そのあと後方からの登山者の通過待ちもして出発。

9時50分、不動滝着。数メートルほどの高さの滝が細く筋のように落ちていく。滝の下にたくさんさんのペットボトルがおいてある。2リットルや5リットルなどの容器が。滝の水が入っているよう



で山頂のトイレの水のためにポランテ
イアで、運んでくれとのことだ。佐藤さ
んと戸丸が一本ずつ運ぶことにした。

9時53分、なるべく一人ずつ渡って
くださいという木の橋を通過。

9時57分、20丁目。武甲山御岳神
社参道の立派な石柱がある。杉の植林地
は次第に傾斜がきつくなってくる。九十
九折れに登って行く。あちこちに二輪草
の花が見られる。

10時33分、ヒノキの横に祠が立っ
ている。

10時45分、大杉の広場に到着。手
をつないで大人5人ほどで幹の周りを
囲むことができた。大きな迫力ある杉だ。
山頂まで60分という標識と、50分と
行く標識がある。

10時53分。ヒトリシズカがあち
こちに咲いている。怪物が大きな口をあ
いているよう

24431 円

収支
繰越 支出
小峰公園下見交通費 2026 円
News/HP 作成費 500 円
当日プリント代 200 円

現在高 21705 円

な面白い倒木
があつた。ウワ
バミ草の可愛
い白い花が咲
いている。ミズ、
とかミズナと
も呼ばれ美味
しい山菜だ。
木の根の多

い道を登って行く。

11時4分、35丁目。こ
こにも大きな杉が立ってい
た。他にももう一本大杉があ
つた。

11時18分、40丁目。
広い階段状の道が続く。

11時29分、42丁目。
石灰岩がごろごろしている
坂になつてくる。しかし植林
地の右側には新緑の淡い緑
が透けて見えていてとても
きれいだ。よく見るとその緑
の下は石灰岩の自然の石垣
のようになつている。

11時38分、44丁目。
11時41分、45丁目。

しばらくするとごろごろし
た石が少なくなつて、植林地
の土の九十九折れになる。こ
れが最後の登りだ。目の前に
緑が広がってくる。

12時ちようど。51丁目。
山頂下のエリアに到着だ。分
岐になつていて右は御岳神
社を超えるすぐに山頂。左
は帰路の裏山口方面、大持、
子持山方面へと続く。
広場右の辺りに荷物を置

6月19日(日)、小峰公園で野草天ぷらです。

ラクダコース 歩行約2時間

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

武蔵五日市から小峰公園を目指して歩きます。
野草を採りながら、小峰公園内をハイキングします。

※お弁当は要りません、うどん、そばを作ります。

○持ち物 飲料水、食器、箸、カップ、非常食、マ
スク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、タオル、
着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、
救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、
ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライ
ターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 6月17日(金)までに

集合 6月19日(日)

JR 新宿駅(11番線) 7:44 発
ホリデー快速 あきがわ3号
武蔵五日市行き(前から3両目)

※注意(おくたま号に乗らないこと)

途中駅発 中野 7:49 三鷹 7:59
国分寺 8:06 立川 8:12 西立川 8:16
拝島 8:25

武蔵五日市 8:51 着

交通費 新宿~武蔵五日市(片道814円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

いて、神社をお参りし山頂へ。右の第2展望台から、第一展望谷へ回る。ここが山頂だ。

12時20分、山頂着。北側には秩父市内の全容が見え、その先には上州の山々が見える。赤城山、榛名山、白く見えるのは谷川岳などだ。景色を堪能して昼食会場に戻る。

いつものようににぎやかな昼食。ビールや梅酒、ウイスキーなども出て持ち寄りの総菜で豪華。

1時45分、下山開始。浦山口を指す。

1時50分、分岐を右に降りてゆく。途中で白く丸い大きな蕾を発見、これが山シヤクヤクと分かり、あとできれいに咲いているものを一輪発見した。小さなリンドウも咲いていた。

2時50分頃、右はカラマツ林、左は檜林の植林。尾根道は緑の灌木がきれいだっ

た。3時頃、植林地の傾斜



がきつくなってくる。長い下りをじつくり降りる。その後少し穏やかになる。

3時30分、尾根を外れて左に急な斜面を下りるコースになる。谷まで深くかなり長く感じる道だ。斜面にジグザクに道が付いているのでそれほど危険はないが慎重に降りて行く。

4時27分、1時間ほどで長い下りが終了し、沢沿いに到着。周りは緑でいっぱい沢沿いを下ってゆく。

4時37分、丸木を組んだ橋を通過する。右側の沢は滝もあり中々素敵な風情になる。

5時7分、左に木の鳥居が見える。奥に小さな祠が見えている。よく見ると橋立神社と書いてある。以前ここで小雨の中天ぶらをやったことを思い出した。

5時38分、橋立鍾乳洞通過。

6時頃、無事に浦山口駅に到着。ホームで少し待って熊谷方面の電車に乗ったが、ここで少し面白いというか、今まで経験したことのない出来事が発生。

出発した電車がブルブルとおかしな振動をして前に進んでいない。少し進んでまた同じことの繰り返し。しばらくするとワンマンの運転手さんが車内放送で「電車がスリップして進めないのので一旦前の駅に戻ります」とのこと、運転手さんが車内を歩いて最後尾まで行って



発車。雨や木の葉で滑ることは割とあるようだ。前の駅に戻って今度は勢いをつけて走っているような感じで無事に花畑駅に到着。

西武秩父駅まで歩き、特急で帰ろうということになり、時間までおつまみと飲み物を買ってフードコートで少しの間小さな打ち上げをしました。丸こんにゃくの煮たのが美味しかった。

少しほろ酔いで快適な特急に揺られて池袋に向かった。

